

研修・研究・会議費

小計 18,000
~~71,000~~ 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

2,000 円

備考

1-1

自由民主党 領 収 書

佐藤伸一郎様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和6年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和6年5月24日 上記の金額正に領収いたしました

住所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号
氏名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村昌治

令和6年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

班藤伸一郎

日 時 令和6年5月24日 (金)

午後4時00分から

会 場 プロミティあつぎ 大ホール

総 会 次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 開催市 市長あいさつ

4 議長選出

5 議 案

議案第1号 令和5年度 活動報告

議案第2号 令和5年度 収支報告及び会計監査報告

議案第3号 役員改選 (案)

議案第4号 令和6年度 活動計画 (案)

議案第5号 令和6年度 収支予算 (案)


議案第6号 決議 (案)

6 来賓あいさつ

7 祝電披露

8 閉 会

令和5年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
5月9日	第1回役員会 ・令和5年度 総会について ・本年度の活動について	
5月26日	総 会 ・令和4年度 活動報告 ・令和4年度 収支報告及び会計監査報告 ・役員を選任 (案) ・令和5年度 活動計画 (案) ・令和5年度 収支予算 (案) ・決議 (案)	
11月2日	要望活動 (神奈川県)	
11月14日	要望活動 (国土交通省)	
11月21日	要望活動 (国土交通省、東京都)	
2月5日	要望活動 (小田急電鉄株)	
3月29日	研修会 ・小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 設立の経緯について (講師：元相模原市議会議員 佐藤賢司氏) ・小田急多摩線延伸の概要について (講師：相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課長)	※会場参加とオンライン参加の併用型 (対象者限定)  YouTube QRコード
3月29日	第2回役員会 ・令和5年度 活動報告 ・令和5年度 収支決算見込み ・令和6年度 総会について	

令和5年度 収支報告

< 収入 >

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	収 入 済 額 (B)	増 減 額 (B-A)	摘 要
1 会 費	222,000	222,000	0	2,000円×111人
2 繰 越 金	370,707	370,707	0	
3 諸 収 入	293	4	△ 289	預金利子
計	593,000	592,711	△ 289	

< 支出 >

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	支 出 済 額 (B)	残 額 (A-B)	摘 要
1 事業推進費	530,000	203,393	326,607	
(1)会議費	110,000	22,420	87,580	総会、役員会 経費 等
(2)活動費	420,000	180,973	239,027	要望活動、研修会 経費 等
2 事務費	50,000	35,620	14,380	郵便料、事務用品購入費 等
3 予備費	13,000	0	13,000	
計	593,000	239,013	353,987	

< 差引 >

(収入済額) (支出済額) (次年度繰越額)
 592,711円 - 239,013円 = 353,698円

会計監査報告書

本議員連盟の令和5年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

令和 6 年 4 月 22 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監 査 大 槻 和 弘

監 査 石 井 芳 隆



役員の変更(案)

役職	新役員		現役員	
	職名	氏名	職名	氏名
副会長	愛川町議会議員	井出一己	愛川町議会議員	渡辺基
理事	町田市議会議員	木目田英男	町田市議会議員	戸塚正人
理事	厚木市議会議員	望月真実	厚木市議会議員	井上敏夫

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則(抄)

(役員)

第5条

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期途中において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

令和8年の総会まで

改選後の役員一覧（案）

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
副会長	町田市議会議員	佐 藤 伸一郎
副会長	相模原市議会議員	大 沢 洋 子
副会長	厚木市議会議員	松 田 則 康
副会長	愛川町議会議員	井 出 一 己
副会長	清川村議会議員	城 所 英 樹
理 事	町田市議会議員	木目田 英 男
理 事	町田市議会議員	藤 田 学
理 事	町田市議会副議長	山 下 てつや
理 事	町田市議会議員	佐 藤 和 彦
理 事	相模原市議会議員	古 内 明
理 事	相模原市議会議員	森 繁 之
理 事	相模原市議会議員	岡 本 浩 三
理 事	相模原市議会議員	こさわ 隆 宏
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	厚木市議会議員	栗 山 香代子
理 事	厚木市議会議員	望 月 真 実
理 事	愛川町議会議員	阿 部 隆 之
会 計	相模原市議会議員	西 家 克 己
監 査	相模原市議会議員	大 槻 和 弘
監 査	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
事務局長	相模原市議会議員	渡 部 俊 明
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
事務局	厚木市議会議員	田 口 孝 男
事務局	愛川町議会議員	岸 上 敦 子
事務局	清川村議会議員	藤 田 義 友

令和6年度 活動計画（案）

「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則」に基づき、次の活動を行う。

令和6年度		令和5年度
実施時期	活動内容	実施状況
5月9日（木）	第1回役員会	5月9日（火） 第1回役員会
5月24日（金）	総会 【プロミティあつぎ 大ホール】	5月26日（金） 総会 【町田市民ホール第4会議室】
5月～12月	要望活動 （国、都県、鉄道事業者）	11月2日（木） 神奈川県 11月14日（火）、21日（火） 国土交通省 11月21日（火） 東京都 2月5日（月） 小田急電鉄株
10～2月	研修会等	3月29日（金） 研修会 ・小田急多摩線延伸を促進する 議員連盟設立の経緯について （講師：元相模原市議会議員 佐藤 賢司 氏） ・小田急多摩線延伸の概要につ いて （講師：相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課長）
3月下旬	第2回役員会	3月29日（金） 第2回役員会

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（事業）

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- （2）国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- （3）広報活動その他目的達成に必要な事業

令和6年度 収支予算(案)

< 収入 >

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 費	226,000	222,000	4,000	2,000円×113人
2 繰 越 金	353,698	370,707	△ 17,009	
3 諸 収 入	302	293	9	
計	580,000	593,000	△ 13,000	

< 支出 >

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 事業推進費	520,000	530,000	△ 10,000	
(1)会議費	130,000	110,000	20,000	総会、役員会 経費 等
(2)活動費	390,000	420,000	△ 30,000	要望活動、研修会 経費 等
2 事 務 費	50,000	50,000	0	事務用品購入費 等
3 予 備 費	10,000	13,000	△ 3,000	
計	580,000	593,000	△ 13,000	

決 議 (案)

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

愛川・厚木方面への延伸について、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要である。

また、延伸の意義と同時に収支採算性等の課題が示されたことから、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの沿線において、需要の創出に繋がる開発を積極的に推進していく必要がある。

延伸の実現に向け、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められていることから、本議員連盟としても延伸の実現に向け、最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、粘り強く関係機関に積極的に働きかけるなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

令和6年5月24日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、【要望先】をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書(案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和6年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書(案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関東運輸局をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和6年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

1 会 則

2 顧問・参与名簿

3 会 員 名 簿

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

(名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

(目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

(役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 5名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 会 計 1名
- (5) 監 査 2名
- (6) 事務局長 1名
- (7) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

5 監査は、この会の会計を監査する。

6 事務局長は、会務を掌理する。

7 事務局は、事務局長を補佐する。

8 会長は、必要に応じて、会長代行を置くことができる。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額 2,000 円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。但し、平成 21 年度においては、平成 21 年 11 月 4 日より翌年 3 月 31 日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成 21 年 11 月 4 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 22 年 5 月 27 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 24 年 5 月 23 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 26 年 5 月 15 日から施行する。

(附則)

この会則は、平成 28 年 5 月 27 日から施行する。

(附則)

この会則は、令和 4 年 5 月 26 日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

役職	職名	氏名	会派
顧問	衆議院議員	小倉 将信	自由民主党・無所属の会
顧問	衆議院議員	あかま 二郎	自由民主党・無所属の会
顧問	衆議院議員	後藤 祐一	立憲民主党・無所属
顧問	衆議院議員	伊藤 俊輔	立憲民主党・無所属
顧問	衆議院議員	甘利 明	自由民主党・無所属の会
顧問	衆議院議員	中山 展宏	自由民主党・無所属の会
顧問	衆議院議員	義家 弘介	自由民主党・無所属の会
顧問	参議院議員	朝日 健太郎	自由民主党
顧問	参議院議員	生稲 晃子	自由民主党
顧問	参議院議員	牧山 ひろえ	立憲民主・社民
顧問	参議院議員	松沢 成文	日本維新の会・教育無償化を実現する会
顧問	参議院議員	浅尾 慶一郎	自由民主党
顧問	参議院議員	三原 じゅん子	自由民主党
顧問	参議院議員	佐々木 さやか	公明党
顧問	参議院議員	三浦 信祐	公明党
顧問	参議院議員	水野 素子	立憲民主・社民
顧問	参議院議員	竹内 真二	公明党
参与	東京都議会議員	こいそ 明	東京都議会自由民主党
参与	東京都議会議員	小磯 善彦	都議会公明党
参与	東京都議会議員	石川 良一	都民ファーストの会 東京都議団
参与	東京都議会議員	藤井 あきら	都民ファーストの会 東京都議団
参与	東京都議会議員	星 大輔	東京都議会自由民主党
参与	神奈川県議会議員	佐々木 正行	公明党神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	てらさき 雄介	立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	河本文 雄	自由民主党神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	細谷 政幸	自由民主党神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	京島 けいこ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	山口 美津夫	自由民主党神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	小田 貴久	かながわ未来神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	阿部 将太郎	日本維新の会神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	さとう 知一	日本維新の会神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	佐藤 けいすけ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参与	神奈川県議会議員	難波 達哉	自由民主党神奈川県議会議員団

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

職名	氏名	会派
町田市議会議長	木目田 英 男	選ばれる町田をつくる会
町田市議会副議長	山 下 てつや	公明党
町田市議会議員	吉 田 つとむ	無所属
町田市議会議員	佐 藤 伸一郎	自由民主党
町田市議会議員	藤 田 学	自由民主党
町田市議会議員	熊 沢 あやり	諸派
町田市議会議員	若 林 章 喜	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	お く 栄 一	公明党
町田市議会議員	三遊亭 らん丈	自由民主党
町田市議会議員	いわせ 和 子	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	戸 塚 正 人	まちだ市民クラブ
町田市議会議員	松 岡 みゆき	無所属
町田市議会議員	佐 藤 和 彦	まちだ市民クラブ
町田市議会議員	白 川 哲 也	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	森 本 せいや	まちだ市民クラブ
町田市議会議員	石 川 好 忠	自由民主党
町田市議会議員	松 葉 ひろみ	公明党
町田市議会議員	おぜき 重太郎	諸派
町田市議会議員	小野寺 まなぶ	公明党
町田市議会議員	秋 田 しづか	諸派
町田市議会議員	加 藤 真 彦	自由民主党
町田市議会議員	中 川 幸太郎	諸派
相模原市議会議長	古 内 明	自由民主党相模原市議団
相模原市議会副議長	大 崎 秀 治	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	加 藤 明 徳	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	須 田 毅	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	大 沢 洋 子	立憲民主党
相模原市議会議員	中 村 昌 治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	阿 部 善 博	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	栗 原 大	立憲民主党
相模原市議会議員	寺 田 弘 子	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	森 繁 之	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	桜 井 はるな	立憲民主党
相模原市議会議員	西 家 克 己	公明党相模原市議団

職名	氏名	会派
相模原市議会議員	関根 雅吾郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	白井 貴彦	立憲民主党
相模原市議会議員	鈴木 秀成	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	大槻 和弘	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	後田 博美	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	渡部 俊明	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	石川 達	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	南波 秀樹	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	羽生田 学	日本共産党相模原市議団
相模原市議会議員	鈴木 晃地	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	佐藤 尚史	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	岡本 浩三	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	秋本 仁	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	大八木 聡	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	中村 忠辰	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	折笠 正治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	三須 城太郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	榎本 揚助	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	今宮 ゆうぎ	日本共産党相模原市議団
相模原市議会議員	仁科 なつ美	立憲民主党
相模原市議会議員	松浦 千鶴子	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	保々 富美子	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	萩生田 康治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	山口 恒	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	小林 たかみち	無所属
相模原市議会議員	岩井 大	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	こさわ 隆宏	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	務川 慧	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	谷川 ヒロシ	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	西田 悠人	自由民主党相模原市議団
厚木市議会議長	遠藤 浩一	公明党
厚木市議会副議長	高橋 豊	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	松田 則康	あつぎみらい
厚木市議会議員	石井 芳隆	きずな
厚木市議会議員	寺岡 まゆみ	公明党

職名	氏名	会派
厚木市議会議員	川 口 仁	公明党
厚木市議会議員	神 子 雅 人	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	栗 山 香代子	無会派
厚木市議会議員	井 上 武	きずな
厚木市議会議員	名 切 文 梨	あつぎの会
厚木市議会議員	松 本 樹 影	あつぎみらい
厚木市議会議員	渡 辺 貞 雄	あつぎみらい
厚木市議会議員	瀧 口 慎太郎	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	田 口 孝 男	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	山 崎 由 枝	公明党
厚木市議会議員	高 橋 知 己	新政あつぎ
厚木市議会議員	望 月 真 実	新政あつぎ
厚木市議会議員	高 村 真 和	新政あつぎ
厚木市議会議員	奈 良 直 史	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	高 田 昌 慶	あつぎの会
厚木市議会議員	山 口 保 子	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	堀 江 克 己	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	小 嶋 正 博	あつぎ一新
厚木市議会議員	白 川 美作江	公明党
厚木市議会議員	岩 崎 一 弥	あつぎ一新
厚木市議会議員	高 橋 伸 也	あつぎの会
厚木市議会議員	津 森 英里花	無会派
愛川町議会議長	井 出 一 己	公明党
愛川町議会副議長	山 中 正 樹	愛川の新時代
愛川町議会議員	井 上 博 明	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	小 島 総一郎	令和あいかわ
愛川町議会議員	小 林 敬 子	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	渡 辺 基	愛川の新時代
愛川町議会議員	佐 藤 り え	公明党
愛川町議会議員	鈴 木 信 一	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	岸 上 敦 子	公明党
愛川町議会議員	阿 部 隆 之	令和あいかわ
愛川町議会議員	茅 孝 之	令和あいかわ
愛川町議会議員	花 上 功	愛川の新時代
愛川町議会議員	熊 坂 健太郎	愛川の新時代

職名	氏名	会派
愛川町議会議員	茅 大 夢	愛川の新時代
清川村議会議長	細 野 洋 一	無所属
清川村議会副議長	山 本 雅 彦	無所属
清川村議会議員	藤 田 義 友	共産党
清川村議会議員	笹 原 和 織	無所属
清川村議会議員	城 所 英 樹	無所属
清川村議会議員	細 野 賢 一	無所属
清川村議会議員	落 合 美 和	無所属
清川村議会議員	小 林 大 介	無所属

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考
-----------	-----	---------	----

領 収 証
 S. 先生 様 2024 年 4 月 27 日

★ 3,000 円

但 2024 年 度 会 費
 上記正に領収いたしました

税率	金額(税抜・税込)	〒195-0064 東京都町田市小野路町950番地 町田地方史研究会
%	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)	会長 小島 政 署 TEL 042-736-8777 FAX 042-735-0104
%	消費税額等	

コクヨ ウケ-1048

2-1

※ 領収書は重ねて貼付しない。
 ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

町田地方史研究会 入会のしおり

町田地方史研究会会長 小島政孝

☆活動内容

町田地方史研究会は、一九七二（昭和四七）年一〇月に設立されました。会員の研究誌である「町田地方史研究」は、現在までに二六号まで出版されています。会誌二〇号は、「町田市制五〇周年記念・横浜線開通一〇〇周年記念特集号です。また、二〇〇五年には、町田市域に関わる古代から昭和期にいたる人物四五六名を掲載した『町田歴史人物事典』を町田地方史研究会編で出版しました。

当会はこれまでに、講演会、歴史講座、古文書解読講座、歴史散歩など多くの活動を行っています。春と秋の歴史散歩と八月に歴史講演会を行ってきました。（現在は、コロナで活動を自粛しています。）会員の特典として、会誌のバックナンバー、三号〜二五号までを五割引でお分けします。送料は一冊二百円、二冊以上は、四百円です。

現在、『町田の地名 南地区』を出版しました。さらに研究を進め、町田市全域を出版する予定です。

会誌は、年一回発行予定で、その代金は会費に含まれます。

町田地方史研究会は、どなたでも入会できます。皆様の御入会を歓迎致します。

☆入会申込み方法

入会申込み書にご記入の上、会費三〇〇〇円を添えて、事務局へお申込み下さい。
会計年度は、四月一日〜翌年三月三十一日までです。

〒195-0064 町田市小野路町950 町田地方史研究会事務局

電話（留守電） 042-736-8777

FAX 042-735-10104

メールは、小島資料館 で検索するとホームページが表示され、明記されています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

1,000

円

備考

領収証 阿部千枝会員の研修費 阿部千枝様

¥ 1,000

但 研修費として
令和6年5月8日 上記の金額正に領収いたしました

日本会議地方議員連盟
〒102-0093 東京都千代田区千代田 1-2-2-4F



※※

2-2

日本会議東京議員懇談会 議員研修会

日時:令和6年5月8日(水)13:00~

会場:東京都議会(6階)第1会議室

【会次第】

司会 石島秀起(東京都議会議員)

- 一、 開会の挨拶会 長 小磯 明(東京都議会議員)
- 一、 東京都議員懇談会人事3 頁
- 一、 憲法改正の条文化に向けた対策と現状並びに緊急事態条項新設について
幹事長 早坂義弘(東京都議会議員).....3~9 頁
- 一、 日本に大災害の備えはあるのか ビデオ上映
河田恵昭氏(京都大学名誉教授)別紙資料
- 一、 武道館大会までの取り組みについて10~15 頁
 - 参加議員全国目標 300 名(現在 214 名)
東京目標 100 名(現在 62 名)
 - 議員署名全国目標 3000 名(現在 2632 名)
東京目標 300 名(現在 225 名)
- 一、 休憩
- 一、 講 師: 谷口智彦氏(筑波大学特命教授・元内閣官房参与) 14:00~
テーマ: 安倍晋三元総理の志を継承し、憲法改正の実現を
- 一、 質疑応答

日本会議東京都地方議員懇談会人事(案)

令和6年5月8日現在

会 長	小磯 明 (東京都議)	
会長代行	小松 大祐 (東京都議)	
会長代理	島村 和成 (江戸川区議)	
副 会 長	田村 利光 (東京都議)	柴崎 幹男(東京都議)
同上	鈴木 章浩 (東京都議)	山加 朱美(東京都議)
同上	伊藤 祥広 (東京都議)	栗山 欽行(狛江市議)
幹 事 長	早坂 義弘 (東京都議)	
幹事長代行	松田 康将 (東京都議)	
幹事長代理	發地 易隆 (東京都議)	
副幹事長	吉住はるお (東京都議)	
同上	渋谷 信之 (東京都議)	鈴木 純 (東京都議)
同上	本橋たくみ (東京都議)	平田つよし (東京都議)
同上	浜中のりかた(東京都議)	星 大輔 (東京都議)
同上	石島 秀起 (東京都議)	鯨井 実 (足立区議)
同上	石田 秀男 (品川区議)	
常任幹事	渡辺 清人 (新宿区議)	清水 がく (小金井市議)
	太田 太 (中央区議)	東 真理子 (武蔵野市議)
	松村 智成 (台東区議)	木下 富雄 (東大和市議)
	二島 豊司 (港区議)	清水 彩子 (武蔵村山市議)
	吉村 美紀 (文京区議)	奥住 匡人 (日野市議会議員)
	有里 真穂 (豊島区議)	沼田 亮 (調布市議)
	坂井由香子 (墨田区議)	藤田 学 (町田市議)
	小林かなこ (目黒区議会)	澤本 幹男 (奥多摩町議)
	つじ 誠心 (練馬区議)	東 亨 (日の出町議)
女性局長	吉田 あい (杉並区議)	
局長代行	土屋 みわ (東京都議)	
局長代理	遠藤百合子 (小金井市議)	
	辻村ともこ (狛江市議)	
事務局長	林 明裕 (東京都議)	
事務局代行	磯山 亮 (東京都議)	
事務局次長	永田 壮一 (千代田区議)	

憲法改正の条文化に向けた対策と現状

令和6年5月8日

1、これまでの流れ

(1)4月11日 憲法審査会

※自民党「条文起草委員会」を提案、維新「立民抜き」訴え

(2)4月18日 憲法審査会 起草委員会設置立民拒否

(3)4月23日 幹事懇談会にて公明党が起草委員会設置反対へ

(4)5月3日 公開憲法フォーラム

※岸田自民党総裁ビデオメッセージ

玉木国民民主代表 連休明けに「起草委員会設置」を迫る

(5)5月5日 サンパウロ記者会見にて岸田総理憲法改正を明言

(6)5月8日 参議院憲法審査会 実質審議へ

2、4月11日の憲法審査会にて「条文起草委員会」を提案

(1)中谷与党筆頭は「条文起草委員会」を提案、「今国会中に節目を」

①国会機能維持のための緊急事態条項、自衛隊明記、教育の充実、デジタル時代の人権については議論が重ねられてきた。「幹事懇談会の場で、まず、緊急事態条項について起草委員会をつくり、条文作業を進めることを提案する」「反対会派もあると思うが、協議のテーブルに着き、意見を述べてもらいたい」

②「自衛隊明記」についても、審査会での議論で合意が深まってきているので、「最大限の努力を払う」とした。

③「この国会中には一定の節目が迎えられるよう努力したい」と述べた。

(2) 「条文起草委員会」提案に公明・維新・国民・有志が賛成

①公明党の北側一雄議員は、令和4年、令和5年と計39回の実質討議が行われ、そのうち33回で議員任期延長が議論され「論点は既に出尽くしている」と訴え「他会派とも協議、調整をして、たたき台となる案を具体的に提示できるようにしていきたい」と話した。

②日本維新の会の馬場伸幸議員は、「立民が審議を妨害すれば、立民抜きで審査を進め、改正原案を策定すべきだ」と主張した。

③国民民主党の玉木雄一郎議員は、今通常国会の定例会残り10回の審査会では、「5会派でおおむね意見の集約が図られてきた、緊急事態における議員任期の特例延長規定を中心とした憲法改正」にしぼって進めるべきだと語り、今からテーマを広げずに、「起草に向けた機関を具具体的に動かしてもらいたい」と求めた。

④有志の会の北神圭朗議員は、多数派の横暴のそしりとの声を恐れることなく、「起草委員会を立ち上げるなど決断の上、結論を出す審査会にかじを切るべきだ」と要請した。

3、憲法改正は「9月までの自民総裁任期中に実現したい」

岸田首相、従来の立場を維持

ブラジル・サンパウロで記者会見し、憲法改正に関し「自民党総裁任期中に実現したいという思いは、いささかも変わりはない」と述べ、従来の立場を維持した。党総裁任期は今年9月まで。その上で「時間的制約がある中でも、一歩でも議論を前に進めるため、最大限努力していきたい」と語った。

「第26回公開憲法フォーラム」 岸田文雄自民党総裁 ビデオメッセージ

令和6年5月3日

会場にお集まりの皆様、またライブ中継を御覧の皆様、こんにちは。自由民主党総裁岸田文雄です。

「第26回公開憲法フォーラム」の開催をお慶び申し上げますとともに、憲法改正の実現に向けて、それぞれのお立場で、平素より熱心にご活動いただいている皆様から敬意を表します。

日本国憲法は占領下の1946年に制定されて以来、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を三大原理として、我が国が民主主義、平和主義国家としての礎を築く上で大きな役割を果たしてきました。このような憲法の基本理念は、今後も決して揺らぐことはありません。

他方で、憲法は「あるべき国の形」を示す国家の基本法であり、社会が大きく変化する中で、現行憲法が今の時代にふさわしいものであり続けているかを考えていくことは大変重要です。現行憲法が施行から77年の間、一度も改正されていない中であって、時代にそぐわない部分、不足している部分については果断に見直しを行っていかねばなりません。

自民党は立党以来、憲法改正を党是とするとともに、長年政権を担ってきた責任政党として、国の在り方、憲法の在り方を常に考え、改憲に向けた議論をリードしてまいりました。平成30年には憲法改正のたたき台素案として、いま国民に問うにふさわしいテーマとして、①安全保障に関わる「自衛隊」 ②統治機構のあり方に関する「緊急事態」 ③一票の格差と地域の民意反映が問われる「合区解消」 ④国家100年の計たる「教育充実」 この4つを取り上げ、議論を促してまいりました。

ここ数年、衆議院・参議院の憲法審査会の開催頻度は高まっているところであり、特に緊急事態条項については、各党の考えを含めて論点整理が進むなど、与野党の枠を超えて、活発にご議論いただいていたものと認識しています。このような動きは大変歓迎すべきものです。

他方で憲法改正は、最終的には国民の皆様による御判断が必要であり、国会の発議を見据えた議論をしていかなければ、いつまでも憲法改正を実現することはできません。このような思いから、私自身先の臨時国会では、「条文案の具体化など、これまで以上に積極的な議論が行われることを心から期待する」と申し上げました。

また昨年12月には、衆・参の憲法審査会の我が党幹事らに対し、党派を超えた連携を目指す改正項目について、我が党の考えをまとめるよう指示しました。そして本年の党の運動方針に「緊急事態や自衛隊の明記などに関する条文起草のための機関を各党派の理解を得て設置をし、憲法改正原案を作成し、国会の発議を経て、国民投票における過半数の賛成に向け全力を傾注する」と明記しました。

繰り返しになりますが、憲法改正は国会が発議するものですが最終的には主権者たる国民の皆様が国民投票で決めるものであり、主役は国民の皆様です。社会が大きく変化し、憲法改正がますます「先送りのできない重要」な課題となる中であって、国民の皆様を選択肢を示すことは「政治の責任」です。

いたずらに議論を引き伸ばし、選択肢の提示すら行わないということになれば、「責任の放棄」と言われてもやむを得ません。

一連の政治資金の問題で政治不信を招いたことについては、自民党総裁として心からお詫びを申し上げますが、政治の信頼回復のためにも、政治改革の議論と併せて憲法改正という重要な課題について、党派を超えて連携しながら、真摯に議論を行う姿を国民の皆様にお見せしていきたいと考えています。

そして、全国各地での対話集会などを通じて、具体的な条文案など分かりやすい資料も活用しながら、国民の皆様と憲法についてともに議論をし、憲法改正についての理解をともに深めていきたいと考えています。

本日のフォーラムについても、多くの国民の皆様が、憲法改正を自らの問題として考え、大いに議論し、理解を深めていただく、そうした機会になることを心から期待しています。皆さん、憲法改正の実現に向けてともに頑張ってください。 -31-

緊急事態条項とは

～地方議会からの視点～

日本会議地方議員連盟
緊急事態条項実現委員会

事務局長

早坂よしひろ

(東京都議会議員)

東日本大震災

東日本大震災では、統一地方選挙を延期した

- ・ 平成23年3月11日に東日本大震災発生
- ・ 同年4月10日に予定されていた県議選は、7か月後(同年11月)に延期
- ・ 地方議員の任期(4年間)は、地方自治法93条で規定
- ・ 任期の延長は条例では出来ず、特例法を制定
- ・ これにより、岩手県・宮城県・福島県・茨城県で計71選挙が延期された

国会では選挙延期が出来ず、どんな場合でも選挙を行う必要がある

- ・ 憲法45条「衆院の任期4年」、憲法46条「参院の任期6年」←例外規定なし
- ・ 任期の延長は法律では出来ず、憲法に追記しなければ出来ない
- ・ 感染症や大災害や戦争内乱があっても、どんな場合でも選挙を行う必要がある
- ・ それは現実的でない
- ・ そこで国会議員の任期延長(国政選挙延期)を認める「緊急事態条項」を憲法に追記すべき

新型コロナウイルス

専決処分 (地方自治法179条)

「法律による行政の原理」の例外規定

- ・ 行政活動は、行政機関独自の判断で行われてはならず、国民の代表で構成された立法府が定めた法律に従って行われなければならないという原理
- ・ 専決処分とは、議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるときに、例外的に首長が議会の議決なしで意思決定すること (その内容は次に開かれた議会に報告され、承認を得る必要がある)
- ・ 東京都議会では、新型コロナウイルス対策で15回専決処分を行った (通常議決は31回)

国会では専決処分が出来ず、どんな場合でも国会を開く必要がある

- ・ 憲法41条「国会は国の唯一の立法機関」←例外規定なし
- ・ 感染症や大災害や戦争内乱があっても、どんな場合でも国会を開く必要がある
- ・ それは現実的でない
- ・ そこで内閣に専決処分を認める「緊急事態条項」を憲法に追記すべき

感染症と自然災害に強い日本を！ 国民の命と生活を守る1万人大会

日時 令和6年5月30日(木) 15時～17時 会場 日本武道館

次 第

- オープニング映像 鎮魂と復興～災害と共に生きてきた日本人の姿
- 一、開 会
- 一、黙 禱 鎮魂の祈り
- 一、国歌斉唱
- 一、主催者挨拶 ニューレジリエンスフォーラム会長 三村明夫
日本商工会議所名誉会頭
- 一、来賓挨拶 自 民 党 総 裁 岸田文雄(依頼中)

映像「国難災害に備えよ」…能登地震、首都直下地震・南海トラフ地震などの巨大災害

- 一、能登半島の被災地から 恵寿総合病院理事長 神野正博
- 一、提 言 ニューレジリエンスフォーラム企画委員長 松本尚
日本医科大学特任教授
- 一、意見表明「感染症と自然災害に強い社会を」
- 日本医師会会長 松本吉郎
- 歌手・俳優・厚労省健康行政特別参与 杉 良太郎
- アルピニスト 野口 健
- 関西大学特別任命教授 河田 惠昭

- 一、地方議会からの意見表明
- 一、災害に強い社会へビデオメッセージ
- 一、国会議員紹介
- 一、大会決議
- 一、決議文手交
- 一、各党挨拶

- 一、閉会の挨拶 ニューレジリエンスフォーラム共同代表 横倉義武
日本医師会名誉会長

ニューレジリエンスフォーラム役員一覧

(50音順)

○会長

三村 明夫 (日本製鉄株式会社名誉会長)

○共同代表

横倉 義武 (日本医師会名誉会長)

河田 恵昭 (京都大学名誉教授、関西大学特別任命教授)

松尾 新吾 (九州経済連合会名誉会長)

○発起人

相澤 孝夫 (日本病院会会長)

磯 彰格 (全国社会福祉法人経営者協議会会長)

井上 隆 (日本経済団体連合会専務理事)

井上 善博 (全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長)

大久保秀夫 (日本商工会議所特別顧問)

太田 謙司 (日本歯科医師連盟会長)

大坪 清 (関西経済連合会副会長)

大森 利夫 (全国理容生活衛生同業組合連合会理事長)

岡田 安史 (日本製薬団体連合会会長)

小河 保之 (元大阪府副知事)

奥村太加典 (全国建設業協会会長)

神野 正博 (全日本病院協会副会長)

久和 進 (北陸経済連合会名誉会長)

藏内 勇夫 (日本獣医師会会長)

小西 毅 (日本青年会議所会頭)

斉藤 秀之 (日本理学療法士協会会長)

坂本 克己 (全日本トラック協会会長)

坂本 久 (全国宅地建物取引業協会連合会会長)

佐竹 敬久 (秋田県知事)

末武 晃 (全国郵便局長会会長)

菅原 裕典 (仙台経済同友会副代表幹事)

関戸 昌邦 (全国商工会連合会相談役)

高橋 英登 (日本歯科医師会会長)

長尾 淳彦 (日本柔道整復師会会長)

松本 吉郎 (日本医師会会長)

宮田 浩美 (日本医薬品卸売業連合会会長)

森 洋 (全国中小企業団体中央会会長)

山野 徹 (全国農業協同組合中央会代表理事会長)

山本 徹 (全国都道府県議会議長会会長)

山本 信夫 (日本薬剤師会会長)

○企画委員長

松本 尚 (日本医科大学特任教授)

○事務局長

濱口 和久 (拓殖大学特任教授・防災教育研究センター長)

ほか、全国約5000の賛同事業体に御支援をいただいています。

「武道館1万人大会」へのご協賛のお願い

大会は皆様方の浄財で開催いたします。

皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

ご協賛 1口5,000円 (何口でも結構です)

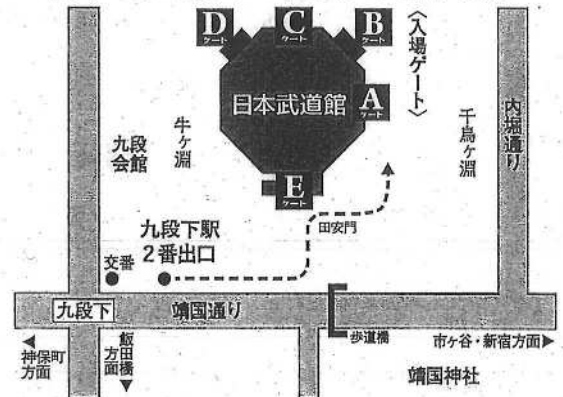
郵便振替 口座番号 00100-4-729574

名義：美しい日本の憲法をつくる国民の会

●ご来場に際してのお願い

- ご来場の際は、入場整理券に明示されている受付ゲートまでお越し下さい。
- 会場には駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
- 会場の席は先着順です。受付入場後は係員の指示に従いご移動下さい。
- 会場内での飲食・喫煙は禁止されています。指定の場所をお願いします。
- 警備上から所持品検査等を行う場合がございます。予めご了承下さい。

日本武道館への交通・受付場所



日本武道館

東京都千代田区北の丸公園 2-3

東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車
2番出口 徒歩5分。

参加の申込は、5月20日(月)までに右のQRコードよりお願いします。

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」事務局のFAX 03-5212-7201でも受け付けております。
この入場整理券に記載し、送信して下さい。

お申し込みは先着1万名で締め切りますので、事前申込をお願いします。



参加申込み

地方議員

受付



整理券

フリガナ

■芳名

年齢 歳

〒

■電話

■ご住所

■メールアドレス

■肩書 (所属議会)

当日は、必要事項を記載し、この整理券をご持参の36「Aゲート(西口)」地方議員受付までお越し下さい。
QRコードより申込された方は、事務局より返信された参加登録を、受付にてスマホ画面でご提示いただくか、

地方議員 各位

「国民の命と生活を守るため

緊急事態対応に関する国会発議を求める地方議員署名」のお願い

新型コロナウイルス感染症のまん延は、私共の社会生活・経済に大きな打撃を与えました。また、東日本大震災など、わが国は過去に多くの国民の命が奪われる自然災害を経験し様々な課題に直面してきました。

感染症と自然災害に強い社会をつくるため、「ニューレジリエンスフォーラム」は、医療界・経済界・防災・福祉等の各界の声を結集し、「国民の命と生活を守るため緊急事態に即応する法整備」を政府・各党に提言して参りました。

私共は、この提言が実現するよう政府に求めるとともに、国会においては、緊急時に国民の命と生活を守る必要な施策を可能とするため、憲法に緊急事態対応を明記する国会発議を速やかに行われるよう要望いたします。

つきましては、私共の趣旨にご賛同戴き、ご署名賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

感染症と自然災害に強い社会を
ニューレジリエンスフォーラム

会 長 三村 明夫（日本製鉄株式会社名誉会長）

共同代表 河田 恵昭（関西大学特別任命教授）

松尾 新吾（九州経済連合会名誉会長）

横倉 義武（日本医師会名誉会長）

右のQRコードのフォームよりインターネットでご署名いただくか、署名用紙を下記までFAXまたは郵送でご返信戴ければ幸いです

FAX 03-6910-0486



【お問い合わせ】 ニューレジリエンスフォーラム事務局 TEL 03-6910-0483

〒102-0092 東京都千代田区隼町 3-19-3F

大規模災害やパンデミック等から国民生活を守るため

憲法に緊急事態対応を明記する国会発議を求める地方議員署名

新型コロナウイルス感染症のまん延は、私共の社会生活・経済に大きな打撃を与えました。また、東日本大震災など、わが国は過去に多くの国民の命が奪われる自然災害を経験し様々な課題に直面してきました。

感染症と自然災害に強い社会をつくるため、「ニューレジリエンスフォーラム」は、医療界・経済界・防災・福祉等の各界の声を結集し、「国民の命と生活を守るため緊急事態に即応する法整備」を政府・各党に提言しています。

国会は、緊急時に国民の命と生活を守る必要な施策を可能とするため、憲法に緊急事態対応を明記する国会発議を速やかに行うよう求めます。

令和 年 月 日

〔 議員 〕

氏名 〔

衆議院議長 額賀福志郎 殿	参議院議長 尾辻秀久 殿	衆議院憲法審査会会長 森英介 殿	参議院憲法審査会会長 中曽根弘文 殿
---------------	--------------	------------------	--------------------



日本会議東京議員懇談会 議員署名 225名 5月8日現在

所属議会	氏名	
	石島 秀起	58
	磯山 亮	59
	伊藤 祥広	60
	小松 大祐	61
	小磯 明	62
	柴崎 幹男	63
	渋谷 信之	64
	鈴木 純	65
	鈴木 章浩	66
	田村 利光	67
	土屋 みわ	68
	早坂 義弘	69
	浜中 のりかた	70
	林 明裕	71
	平田 みつよし	72
	發地 易隆	73
	星 大輔	74
	松田 康将	75
	本橋 たくみ	76
	吉住 はるお	77
東京都議会議員	太田 太	78
	白須 夏	79
中央区議会議員	川北 直人	80
	劔先 美彦	81
	二瓶 文隆	82
江東区議会議員	星野 博	83
	山本香代子	84
	米沢 和裕	85
	石川 義弘	86
	石塚 猛	87
	石原 喬子	88
	太田 雅久	89
	岡田 勇一郎	90
	大浦 美鈴	91
	高森 貴美子	92
	田中 宏篤	93
	拝野 健	94
	松村 智成	95
	石田 秀男	96
	芹澤 裕次郎	97
	西村 直子	98
品川区議会議員	犬伏 秀一	99
大田区議会議員	おのせ 康裕	100
	河野 陽子	101
目黒区議会議員	岸 大介	102
	小林 かなこ	103
	ひえしま 進	104
世田谷区議会議員	内野 大三郎	105
	吉田 康一郎	106
中野区議会議員	安斉あきら	107
	小林 ゆみ	108
	矢口やすゆき	109
	吉田 あい	110
	渡辺 友貴	111
	有里 真穂	112
	磯 一昭	113
豊島区議会議員	池田 祐一	114

所属議会	氏名
	竹下 ひろみ
豊島区議会議員	芳賀 竜朗
	藤澤 愛子
	松下 創一郎
元豊島区議会議員	吉村 辰明
	伊藤 信之
	岡田 将和
	金田 正
	工藤 哲也
	鯨井 実
	白石 正輝
足立区議会議員	渋谷 竜一
	鹿浜 昭
	杉本 優
	多田 太郎
	長澤 興祐
	吉岡 茂
	渡辺 英章
荒川区議会議員	明戸 真弓美
練馬区議会議員	つじ 誠心
	岩田 将和
	小林 智夫
	鹿倉 勇
江戸川区議会議員	島村 和成
	田中 寿一
	野崎 信
	藤澤 進一
	梅沢 豊和
葛飾区議会議員	大森ゆきこ
	高木 信明
	筒井たかひさ
	木崎 剛
	きくち由美子
武蔵野市議会議員	小林まさよし
	東 真理子
	与座 武
	秋山 敏行
	大室はじめ
	比留間 利蔵
	佐藤 新悟
府中市議会議員	増山 明香
	松村 祐樹
	宮田よしひと
	横田 実
	遠藤 百合子
小金井市議会議員	清水 がく
	木下 富雄
	中村 庄一郎
東大和市議会議員	蜂須賀 千雅
	森田 博之
	尾澤 脩
	新海 栄一
	田中 政義
国分寺市議会議員	対馬ふみあき
	鳥居あかね
	丸山 哲平
	森田たかし

日本会議東京議員懇談会 議員署名 225名 5月8日現在

所属議会	氏名	
国立市議会議員	青木 健	172
	大谷 俊樹	173
	石井 伸之	174
	遠藤 直弘	175
国立市議会議長	高柳 貴美代	176
東村山市議会議員	木村たかし	177
	熊木 敏己	178
	小林 美緒	179
	小町 明夫	180
	下澤 由起夫	181
	土方 桂	182
清瀬市議会議員	齋藤 公裕	183
	友野 和子	184
	中村きよし	185
	星野 玲子	186
	森田 正英	187
	清水 浩長	188
	沢西 卓哉	189
東久留米市議会議員	篠宮 正明	190
	島崎 孝	191
	当麻 一哉	192
	野島 武夫	193
	内野 和典	194
武蔵村山市議会議員	大野 正士	195
	清水 彩子	196
	田口 和弘	197
	土田 雅一	198
	長堀 武	199
	波多野 健	200
昭島市議会議員	安保 満	201
	小林 浩司	202
	木崎 親一	203
	高橋 誠	204
	永井 充	205
	三田 俊司	206
	美座 孝明	207
調布市議会議員	大須賀 浩裕	208
	大野 祐司	209
	澤井 慧	210
	佐藤 堯彦	211
	鈴木 宗貴	212
	田中 謙二	213
	沼田 亮	214
	石井 功	215
狛江市議会議員	太田久美子	216
	小木 哲朗	217
	きたみまさし	218
	栗山 欽行	219
	篠 浩司	220
	辻村 ともこ	221
	三角 武久	222
	三宅 眞	223
	谷田部一之	224
	山田 道子	225
稲城市議会議員	池田 英司	
	角田 政信	
	坂田 健史	

所属議会	氏名	
稲城市議会議員	土居 範洋	
	中島 健介	
	渡辺 力	
町田市議会議員	藤田 学	
	松岡 みゆき	
多摩市議会議員	桐木 優	
	松田 大輔	
西東京市議会議員	山田 忠良	
多摩市議会議員	飯島 文彦	
	石山ひろあき	
青梅市議会議員	阿倍 悦博	
	迫田 晃樹	
	島崎 実	
	寺島 和成	
	鴨居 孝泰	
	山田 敏夫	
	山崎 勝	
	山崎 哲男	
	山田 紀之	
	中野 芳則	
	石川 義郎	
福生市議会議員	小澤 義輝	
	佐藤 弘治	
	仲間 正司	
	森田 哲哉	
	山崎 隆裕	
	秋山 義徳	
	池澤 敦	
羽村市議会議員	富松 崇	
	野崎 和也	
	榎戸 雄一	
奥多摩町議会議員	小峰 陽一	
	澤本 幹男	
	原島 幸次	
	榎本 義輝	
	香取 幸子	
瑞穂町議会議員	下澤 章夫	
	高橋 洋子	
	古宮 郁夫	
	森 亘	
	山崎 栄	
	大和 雅彦	
	川脇 敏徳	
日の出町議会議員	木住野 千雄	
	玉井 大	
	濱中 直樹	
	濱中 映慈	
	平野 隆史	
	東 亨	
檜原村議会議員	青木 亮輔	
	野村 雅美	
	峰岸 茂	
小笠原村議会議員	山崎 源重	
	片股 敬昌	

日本会東京議員懇談会 武道館参加者 62名 5月8日現在

	所属議会	氏名
1	東京都議会議員	石島 秀起
2		磯山 亮
3		伊藤 祥広
4		小松 大祐
5		小磯 明
6		土屋 みわ
7		早坂 義弘
8		林 明裕
9		發地 易隆
10		星 大輔
11		松田 康将
12		本橋 たくみ
13		山加 朱美
14		吉住 はるお
15	前東京都議会議員	河野 雄紀
16	千代田区議会議員	永田 壮一
17	港区議会議員	二島 豊司
18	新宿区議会議員	石川 孝一
19		渡辺 清人
20	中央区議会議員	太田 太
21		白須 夏
22		二瓶 文徳
23	江東区議会議員	川北 直人
24		二瓶 文隆
25	台東区議会議員	松村 智成
26	目黒区議会議員	岸 大介
27	世田谷区議会議員	ひえしま 進
28	文京区議会議員	吉村 美紀
29	前杉並区議会議員	井原 太一
30	杉並区議会議員	吉田 あい
31		渡辺 友貴

	所属議会	氏名
32	元豊島区議会議員	吉村 辰明
33	足立区議会議員	岡田 将和
34		鯨井 実
35		渋谷 竜一
36		鹿浜 昭
37		古性 重則
38	練馬区議会議員	つじ 誠心
39	江戸川区議会議員	島村 和成
40	武蔵野市議会議員	東 真理子
41	府中市議会議員	秋山 敏行
42	前小金井市議会議員	高橋 亮克
43	小金井市議会議員	清水 がく
44	東大和市議会議員	木下 富雄
45		中村 庄一郎
46		蜂須賀 千雅
47		森田 博之
48	国分寺市議会議員	田中 政義
49	国立市議会議員	遠藤 直弘
50	東村山市議会議員	下澤 由起夫
51	東久留米市議会議員	野島 武夫
52	武蔵村山市議会議員	清水 彩子
53		波多野 健
54	日野市議会議員	奥住 匡人
55	狛江市議会議員	栗山 欽行
56		篠 浩司
57		辻村 ともこ
58	稲城市議会議員	土居 範洋
59	西東京市議会議員	山田 忠良
60	日の出町議会議員	東 亨
61	東議員秘書	後藤 雅人
62	八王子支部	田中 善積

紙 用 付 貼 等 書 收 領

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

自由民主党 領 収 書

藤田 学 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和6年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和6年5月24日 上記の金額正に領収いたしました

住 氏 所 名 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 中 村 昌 治

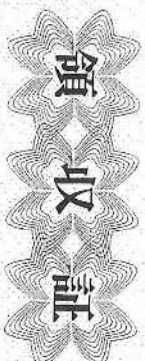
2-13

令和6年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和6年5月24日 (金)
午後4時00分から
会 場 プロミティあつぎ 大ホール

領 收 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--



領 收 証

藤田 学 様

2024 年 5 月 20 日

No 00141

¥3,000-

但し 令和6年度 会費
上記の金額正に領収いたしました

〒194-0023 町田市旭町3-1-3 町田警察署内
町田防犯協会
会長 山下 幸 光

電話 042-722-1359

※※

2-4

令和6年度
定期総会

開催日 令和6年5月30日(木)
午後4時00分より

場 所 町田商工会議所会館
町田市原町田3-3-22
(レンブラントホテル東京町田の裏側)

《定期総会出席者は、この資料をご持参下さい》

町田防犯協会

令和6年度 定期総会

式次第

司会 矢尾板 副会長

一 開 会

信 田 副会長

一 会長挨拶

山 下 会 長

一 議長選出

一 議 事

第1号議案 令和5年度事業報告 上 原 副会長

第2号議案 令和5年度会計決算 小 林 会計

及び会計監査報告 鈴 木 監査

第3号議案 令和6年度事業計画(案) 信 田 副会長

第4号議案 令和6年度予算(案) 小 林 会計

第5号議案 役員改選について(案) 山 下 会長

一 議長解任

一 閉 会

石川 副会長

会員の皆様方には、日頃から防犯協会全般の活動にご尽力いただき感謝を申し上げます。

令和5年度に入り「コロナ禍」もひと段落し、街も賑わいを取り戻したかに感じられる様になりました。

しかし、相変わらず特殊詐欺、窃盗（侵入盗）犯罪等の発生は、増加傾向にあり、特に特殊詐欺は、年々手口が巧妙化し、カードを預かって現金を引き出したり、還付金を名目に機械の操作によって、金をだまし取る等の手口がまだまだ絶えません。パソコン、携帯にメールを送り付けて解除料や未納金をだまし取る手口も増えています。

特に電話による巧妙な手口については、海外に拠点を設けて電話攻勢をかける一味が摘発されました。

町田市内の特殊詐欺被害者については、殆どの人が安易に「電話」に出て騙されるのが現状です。

当防犯協会は町田警察署に協力し、防犯広報啓発活動を主として「青年部による青パト広報活動」や「チラシ・グッズ等の配布」を通じ防犯意識の高揚を目指して活動を実施致しました。

高齢者の世帯や自治会活動の場に赴き、とにかく固定電話は、留守番電話に設定し「鳴った電話に出ない。留守番電話で相手の確認」を周知徹底させる事が最も重要な対策の一つと考え活動を推進しています。

都内でも町田市は特殊詐欺被害が1番多いとの不名誉を挽回するためにも当協会は一丸となって町田市・町田警察署に協力し、1件でも特殊詐欺被害を無くす活動を続けて参ります。

令和6年度も会員皆様のご理解とご協力を得て、防犯広報・啓発活動を強力に推進し「安全安心な街・町田」を目指しましょう。

決議事項

第1号議案 令和5年度事業報告

第2号議案 令和5年度会計決算及び会計監査報告

第3号議案 令和6年度事業計画(案)

第4号議案 令和6年度予算(案)

第5号議案 役員の改選について(案)

令和5年度 事業報告

令和5年度の防犯活動につきましては、前年度に比較してコロナ禍の影響が薄れたとはいえ、街頭におけるイベントやキャンペーン活動による防犯広報・啓発活動はまだまだ厳しい現況にありました。そのような状況下においても窃盗や特殊詐欺犯罪は、前年にも増して増加傾向にありました。

特に特殊詐欺については、電話を活用しての犯罪であり「如何にして、電話に出ないか。」を周知させることが重要です。留守番電話の徹底、自動通話録音器の設置等を促しても「鳴った電話に出してしまう。」のが高齢者の実態です。

- 町内会、自治会へのチラシの送付による広報
- 町警日より（隔月）の新聞折り込み、ポスティングの実施
- 年金支給日、給料日等への街頭での広報活動

これらの活動は地道であります。1件でも特殊詐欺被害を防ぐ事が出来ればと街頭活動を推進しています。地元版のタウンニュース誌へ警察署に協力して「特殊詐欺の特番」を掲載し広報啓発活動を実施しました。

また、町田市内を走る路線バス会社に「中刷りポスター」の掲出を依頼し、特殊詐欺撲滅の活動も推進しました。そして、毎月の青年部による青パト広報、自治会・町内会への防犯パトロール依頼、管内事業者への「ながら防犯」活動の委嘱（警察署、防犯協会）や定例行事への地区支部員の参加、青年部の盛り場地区の防犯パトロールを実施して参りました。

令和5年度の10月全国地域安全運動期間中の「町田市民のつどい」は開催せず、新しい試みとして広報媒体（町田まちづくり公社）を活用しデジタル・サイネージ広報を実施してみました。

年末の一斉警戒中に行政・警察が一体となり、都県境をまたぐ町田市・相模原市が合同で相模原南警察署、町田警察署が鉄道業者と一体となり「安全安心な街づくり」を目指した合同パトロールを実施しました。

アポ電が多いと思料される家庭に優先的に貸し出す「自動通話録音器」を購入（町田市補助金）し町田警察署の選定する家庭へ貸出し設置を進めております。

主な活動

- 市内の定期バス中吊りポスターの掲示
- 青パトによる防犯広報活動（毎月3日と20日）・・・青年部
- 全国地域安全運動期間中町田駅デッキ上のサイネージ広報
- 青パト広報（10月11日～20日までの間）毎日3名・・・青年部
- 年末一斉警戒における駅前キャンペーン（12月28日）
カリヨン広場から町田駅盛り場地区のパトロール・・・青年部
- 年末夜警パトロール激励（12月28日）会長と副会長（2名）
- 自動通話録音器の購入（30台）

犯罪発生 of 厳しい環境下であって、町田防犯協会として何が出来るかを考え、町田警察署の指導を仰ぎながら犯罪の発生に対応した効果的な地域安全活動に取り組みました。

今後も町田市・各種協力団体等の支援を頂きながら、町田警察署に協力して「安全安心な街 町田」を目指して、防犯活動を推進して参ります。

会議・諸活動等の実施	
毎月	毎月3日、20日を「防犯広報日」と称し、犯罪の多い地域を重点地域として「青パト」による広報活動、「年金支給日」や「給料日」に金融機関等の周辺において関係機関に協力し、青年部・婦人部がイベント活動（チラシ配布）に参加、防犯抑止活動を推進する。
4月	7日 会長打合せ（防犯重点地区指定・・・東防連） 13日 委嘱状交付式（セントラルP・・・会長） J. COM 19日 会計予備監査 25日 東防連事務局長等連絡会議 28日 会計監査
5月	1日 総会資料（議案書）印刷へ 15日 東防連第1回通常理事会（会長） 31日 令和5年度定期総会（レンプラントホテル東京町田）
6月	7日 支部長会議の打合せ 14日 青年部年間事業報告会（梅の花） 25日 町田市消防団ポンプ操法大会（会長出席） 26日 重点地区指定・・・助成物の検討（サンエス技研） 27日 第1回合同支部長会議（町田フォーラム）
7月	4日 防犯功労表彰式（グランドアーク半蔵門）・・・会長出席 5日 町田警察署懇話会総会・・・会長出席 14日 町田警察署防犯功労表彰式（署講堂）・・・会長出席 21日 町田カラオケ業界防犯パトロール（カリヨン広場）・・・青年部 31日 第71回少年柔剣道錬成大会（日本武道館）・・・会長出席
8月	9日 町田重点地区助成物の納入 28日 町田警察署長交代（川崎和己様）・・・組織犯罪対策部から 31日 新署長への挨拶（会長）
9月	3日 フェスタ（栄通り）・・・会長（人力車）、青年部 7日 防犯協会長全体会議（グランドアーク半蔵門）・・・会長出席 15日 会長打合せ（全国地域安全運動）・・・事務局 22日 第2回合同支部長会議（町田フォーラム）・・・会長以下 15名 27日 ビル防犯連絡会議（矢尾板副会長）・・・武蔵野防犯協会幹事
10月	2日 遊技場組合連絡会議（パレスホテル）・・・会長出席 6日 「ながら防犯」出動式（町田安協P）・・・会長、青年部出席 11日～20日まで全国地域安全運動 11日 青パト出動式（町田安協Pから）・・・会長、青年部（3名）出席 12日 青パト（一石、鈴木、斎藤） 14日青パト（福士、道地、三橋） 17日 青パト（鈴木、廣木、岩崎） 19日青パト（一石、鈴木、高橋） 20日 青パト（道地、藤野、新井）

11 月	<p>9日 方面別防犯連絡会議（リンク・フォレスト、多摩中央）・・・会長出席 ・鶴川地区（東・西支部）役員会の開催 ※ 各支部へのカレンダー配布開始</p> <p>20日 青パト防犯広報活動（成瀬地区・・・特殊詐欺）</p>
12 月	<p>7日 東防連企画調査委員会（法曹会館）会長出席</p> <p>11日 婦人部長逝去（関あや子様）・・・会長、婦人部出席</p> <p>21日 町田駅周辺防犯対策連携会議（町田市役所）・・・会長、信田出席</p> <p>22日 町田駅周辺合同パトロール（会長、信田副会長、青年部）</p> <p>28日 夜警パトロール、町内会、自治会等の夜警個所の激励 ・山下会長(署長) ・上原副会長(副署長) ・石川副会長(生安課長) ※ 3組で各町内会、自治会の夜警実施場所9箇所を激励 ※ 歳末警戒パトロール(カリヨン広場)内田部長以下青年部参加 (町田中央商店街をパトロール実施)</p>
1 月	<p>5日 町田商工会賀詞交歓会（レンブラントホテル）・・・会長出席</p> <p>7日 武道始(町田警察署)・・・(道場)</p> <p>10日 元副会長逝去（萩原康好様）・・・会長、石川副会長、鶴川支部参列</p> <p>14日 町田消防団出初式(町田第一小学校)・・・会長出席</p> <p>17日 町田市警備業協議会賀詞交歓会（レンブラントホテル）・・・会長出席</p> <p>23日 第九方面本部武道始（多摩総合庁舎）・・・会長参列 ・剣道（優勝） ・柔道（3位）</p>
2 月	<p>5日 東防連第2回理事会（グランドアーク半蔵門）・・・降雪で中止のため 書面開催</p> <p>16日 町田駅周辺防犯対策連携会議（第2回）市役所庁舎 ・会長（防犯協会）・信田副会長（中央商店会）</p> <p>19日 町田市市民生活安全協議会（市役所庁舎）・・・会長出席</p>
3 月	<p>3日 青パト防犯広報活動（玉川学園、つくし野地区）</p> <p>15日 町田駅周辺防犯対策連携会議・・・会長、信田副会長 ※ 条例制定の立川市へ視察</p> <p>20日 青パト防犯広報活動（町田駅周辺・・・自転車盗）</p> <p>22日 第2回拡大役員会の開催・・・ロイヤルホストにて</p> <p>25日 鶴川支部役員会の開催・・・新副会長の選出</p>

令和5年度決算報告書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:円)

		収 入		金 額		
				当期予算額	決算額	増 減
収 入 の 部	項 目					
	会 費	一般会員会費	一般会員会費収入	610,000	561,000	▲ 49,000
		特別会員会費	特別会員会費収入	1,955,000	1,915,000	▲ 40,000
		その他	諸行事会費	-	0	0
		合 計		2,565,000	2,476,000	▲ 89,000
	市 補 助 金	市補助金	町田市補助金	687,000	687,000	0
		合 計		687,000	687,000	0
	そ の 他	そ の 他 収 入	地域安全運動他協賛金	300,000	300,000	0
			寄付金	-	-	0
			雑収入(自販機分配金)	-	22,534	22,534
			受取利息	-	3	3
			祝金(総会祝金)	-	-	0
			借入金	-	-	0
	合 計		300,000	322,537	22,537	
	繰 越 金	前年度繰越金		825,352	825,352	0
総 合 計			4,377,352	4,310,889	▲ 66,463	

令和5年度決算報告書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:円)

項 目		支 出			摘 要
		当期予算額	決算額	増減	
一 般 支 出 の 部	機関誌発行費	950,000	953,060	3,060	
	広報宣伝費	150,000	99,550	▲ 50,450	
	防犯活動費	1,000,000	649,367	▲ 350,633	防犯のつどい未開催
	会議費	50,000	34,888	▲ 15,112	
	表彰費	50,000	58,815	8,815	
	人件費	1,064,000	1,064,000	0	
	修繕費	20,000	0	▲ 20,000	
	通信費	200,000	208,344	8,344	
	消耗品費	250,000	115,697	▲ 134,303	
	慶弔費	30,000	20,000	▲ 10,000	
	渉外費	50,000	27,498	▲ 22,502	
	東防連分担費	120,000	120,000	0	
	広報車管理費	120,000	196,821	76,821	車検代支払い
	ビル防犯費	20,000	10,000	▲ 10,000	
	旅費・交通費	60,000	62,000	2,000	
	雑費(銀行等手数料)	43,352	27,916	▲ 15,436	
予備費	200,000	165,300	▲ 34,700	定期総会懇親会費用	
	合 計	4,377,352	3,813,256	▲ 564,096	
積立金	記念行事積立金		0	0	積立金計画7年目
	合 計	-	0	0	
借入金	借入金返済	-	0	0	
次年度繰越金			497,633	497,633	
総 合 計		4,377,352	4,310,889	▲ 66,463	

決算残高内訳書

令和6年3月31日現在

1 一般会計の部

収入の部合計	支出の部合計	残高
4,310,889円 ※	3,813,256円	497,633円

※印は、前年度繰越金 825,352円を含む

2 残高内訳

内 訳	金 額
きらぼし銀行町田支店	121,228円
三井住友銀行町田支店	106,175円
みずほ銀行町田北口支店	224,383円
東京貯金局振替口座	44,444円
現金(手許有高)	11,403円
未払金(会費二重払分の要返還額)	△10,000円
合 計	497,633円

上記の通り収支決算致しました。

令和6年3月31日

町田防犯協会

会 長 山 下 幸 光
会 計 小 林 進
会 計 勝 永 雅 紀

以上監査の結果、収支適正であることを認めます。

町田防犯協会

令和6年4月15日

会計監査 鈴 木 章 夫
会計監査 五十子 良 二

町田防犯協会
会長 山下幸光 殿

会計監査報告書

町田防犯協会「令和5年度収支決算書」に基づき
会計監査を行なった結果、適切なものと認める。

令和6年4月15日

会計監査 鈴木 章夫

会計監査 五十子良二

第3号議案

令和6年度事業計画(案)

月 別	行 事	細 目
4 月	1 会計監査(15日) 2 金融機関対策 3 防犯対策の実施 (特殊詐欺、万引き) 4 拡大役員会(第1回) 5 青年部役員会	1 決算、予算、事業計画の審議 2 特殊詐欺撲滅キャンペーン 3 ボランティア防犯活動の日(毎月3日) 地域安全活動の日(毎月20日) 4 定期総会資料の審議 5 活動方針の検討
5 月	1 フェスタ町田(5月12日) 2 侵入盗、自転車盗、万引き 防犯対策の推進 3 特殊詐欺対策会議 4 薬物乱用防止推進協議会 5 社会を明るくする運動推進 6 定期総会(5月30日)	1 広報活動(青年部・原町田支部参加) 2 青パトによる広報活動 (防犯広報) 3 各種防犯対策資料の配布 4 対策会議 5 街頭活動の実施 6 定期総会・懇親会
6 月	1 防犯対策の推進 2 合同支部長会議 (第1回) 3 少年・風俗対策の強化推進 4 青年部報告会	1 侵入盗、自転車盗、万引き等の防止キ ャンペーン実施 2 会費の集金活動を検討 3 街頭活動の実施 4 活動状況報告
7 月	1 薬物乱用根絶地区協議会 2 盛り場地区対策の推進 3 広報活動の推進 4 防犯功労者表彰式	1 街頭活動の実施 2 官民合同パレードの実施 3 青パトによる防犯広報 4 本部行事(7/8の予定)
8 月	1 駅周辺環境浄化パトロール 2 金融機関対策強化 3 青少年の非行防止	1 盛り場地区を重点としたパトロールを実 施 2 金融機関前でのキャンペーン実施 3 青パトによる広報活動と街頭補導の 実施
9 月	1 地区防犯協会長全体会議 2 町内会・自治会長連絡会議 3 合同支部長会議 (第2回) 4 フェスタ・ザ栄通り (青年部の参加検討中) 5 青パト広報活動 6 ビル防犯連絡会議	1 「全国地域安全運動」推進対策会議 2 防犯広報紙の発行 3 地域安全運動進め方の検討 4 パレードへの参加(検討中) 5 特殊詐欺撲滅の広報活動 6 連絡会議の実施

10月	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国地域安全運動の推進 (11日～20日まで) 2 特殊詐欺対策の強化 3 侵入盗対策の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 行事は別途、計画 2 防犯対策資料の配布と青パト広報 (青パトによる広報活動) 3 街頭イベントの実施
11月	<ol style="list-style-type: none"> 1 合同支部長会議 (第3回) 2 「年末特別警戒」活動の準備 3 地域安全活動の推進 4 防犯広報・啓発活動の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯対策推進会議開催 2 年末防犯対策会議開催 3 地元行事等での活動 4 青パトによる防犯広報の実施
12月	<ol style="list-style-type: none"> 1 「年末・年始特別警戒」活動の推進 2 金融機関対策強化 3 繁華街・盛り場対策の推進 4 町内会・自治会への激励 	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯広報チラシ配布 (金融機関、スーパー等) 2 年末特別警戒防犯広報の実施 (町田駅周辺・都県境との合同) 3 繁華街防犯パトロールの実施 4 夜警実施場所における激励(28日)
1月	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯対策の推進 2 自転車盗・万引き対策 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域安全の日に各種防犯活動を実施 2 鍵かけ、声かけ運動の実施
2月	<ol style="list-style-type: none"> 1 特殊詐欺対策の推進 2 金融機関対策強化 3 拡大役員会(第2回) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 青パトによる防犯広報 (街頭でのチラシ配布) 2 金融機関周辺でのキャンペーン実施 3 新年度の事業計画の審議
3月	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬物乱用防止推進協議会 2 拡大役員会(第3回) 3 会計監査・定期総会の準備 4 青少年犯罪の防止 	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯広報紙の発行配布 2 新年度の事業計画作成 3 年度決算と新年度の予算建て 4 青パト広報による啓発活動の実施

◎ 本年度の事業計画について、社会情勢によっては、変更もあります。
 例年10月に実施している「町田防犯のつどい」については、現在までのところ
 実施内容を計画中です。

第4号議案

令和6年度予算(案)(令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位:円)

収 入					
	項 目		金 額		
			前年度決算額	当期予算額	
収 入 の 部	会費	一般会員会費	一般会員会費収入	561,000	561,000
		特別会員会費	特別会員会費収入	1,915,000	1,915,000
		その他	諸行事会費	-	0
		合 計		2,476,000	2,476,000
	市補助金	市補助金	町田市補助金	687,000	687,000
		合 計		687,000	687,000
	その他	その他収入	地域安全運動他協賛金	300,000	300,000
			寄付金		0
			雑収入(自販機分配金)	22,534	0
			受取利息	3	0
			祝金		0
			借入金		0
	合 計		322,537	300,000	
	繰越金	前年度繰越金		825,352	497,633
	総 合 計			4,310,889	3,960,633

令和6年度予算(案)(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:円)

項 目		支 出		摘 要
		金 額	金 額	
		前年度決算額	当期予算額	
一 般 支 出 の 部	機関誌発行費	953,060	960,000	
	広報宣伝費	99,550	100,000	
	防犯活動費	649,367	800,000	
	会議費	34,888	50,000	
	表彰費	58,815	60,000	
	人件費	1,064,000	1,064,000	
	修繕費	0	-	
	通信費	208,344	200,000	
	消耗品費	115,697	120,000	
	慶弔費	20,000	30,000	
	渉外費	27,498	30,000	
	東防連分担費	120,000	120,000	
	広報車管理費	196,821	200,000	車検1台、任意保険2台分
	ビル防犯費	10,000	10,000	
	旅費・交通費	62,000	65,000	
	雑費(郵貯手数料)	27,916	35,000	
	予備費	165,300	116,633	
		合 計	3,813,256	3,960,633
積立金	記念行事積立金	0	-	
	合 計	0	-	
借入金	借入金返済	0	-	
次年度繰越金		497,633	-	
総 合 計		4,310,889	3,960,633	

第5号議案

役員改選について(案)

1 報告

昨年度の総会に於いて、会計（2名のうち1名の改選）を会長一任となりましたがその後、中町・旭町支部の 勝永雅紀 様が指名され選任されました。遅くなりましたが、ご報告申し上げます。

2 本年度、一部の役員から一身上の都合により、役員辞退の申し出があり 町田防犯協会会則の 第4章

第11条 会長、副会長、会計、監査は総会に於いて選出する。

各部長は、会長が委嘱する。支部長、副支部長及び班長は、支部内より選出し会長が委嘱する。……等の会則
規定により

下記のとおり、役員改選を行いたく会員様のご承認をお願いいたします。

○ 副会長の交代

副会長（忠生・木曾地区等の担当）

小山 幸正 様 から一身上の都合により、退会の申し出がありました。後任の副会長には現 監査兼矢部支部長の鈴木 章夫 様に
監査（現鈴木章夫様）の後任は 木曾支部長の石川 勝長 様に
お願いしたいと思います。

○ 副会長（鶴川地区担当）

石川洋一郎 様 から一身上の都合により副会長職を辞退したい旨の申し出があり……鶴川支部の役員会の推薦により

島野 勉 様（現鶴川西支部長）が選任されました。ご承認願います。
（支部長については、従来通りとする。）

3 その他

○ 原町田第二（副会長）～ご辞退の申し出がありました。選考中です。

○ 婦人部長～部長席が空席（部長代行 平本シヨリ 様）になり、選考中です。

令和6年5月30日

町田防犯協会

会長 山下 幸光

令和6年度 役員改選 (案)

令和6年5月30日

役職	担当地区	支部	新役員	備考
会長			山下 幸光	再任
副会長	南地区	南第一、町谷、南第三、南第四	吉田 喜好	再任
副会長	原町田第一	原町田第一	信田 昇、利	再任
副会長	原町田第二	原町田第二	白鳥 定昭	調整中
副会長	森野・中町・旭町	森野、中町旭町	渋谷 正博	再任
副会長	玉川学園・本町田	玉川学園、本町田	上原 洋	再任
副会長	忠生	木曾、常盤、上小山田、下小山田、矢部、根岸、山崎、忠生四丁目町内会	鈴木 章夫	新任
副会長	鶴川	鶴川東、鶴川中、鶴川西	島野 勉	新任
副会長	ビル防犯		矢尾板 淳	再任
部長	婦人部		空席	調整中
部長	青年部		内田 三郎	再任
会計	会計		小林 進	再任
会計	会計		勝永 雅紀	前年選任
監査	監査		石川 勝長	新任
監査	監査		五十子 良二	再任
顧問			廣島 昇	再任

領 收 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

2,000 円

備考

5-1

<p>自由民主党会派 加藤 真彦 様</p> <p>領 收 書</p> <p>¥ 2, 0 0 0 -</p> <p>但し、令和6年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として</p> <p>令和6年5月24日 上記の金額正に領収いたしました</p> <p>住 所 名 氏 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号 議員連盟 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 村 長 中 村 昌 浩 会 長 会</p>

令和6年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和6年5月24日(金)
午後4時00分から
会 場 プロミティあつぎ 大ホール